

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年2月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500245
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホーム 養母の里
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里5202 - 1 (電話) 0992-74-7333
自己評価作成日	平成30年12月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年1月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開設し、約2年近くなりましたが、「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」「あったか地域であったか交流みんなできつろうあったかの輪」の理念のもと、管理者・職員が一丸となって「その人らしさと安心」を大切にできる環境を利用者様に提供できるよう配慮し、日々を楽しく生活続けられるように努力しております。
また、理念も毎朝唱和し、職員同士のチームワークを意識し、「6つの心」を心がけ、さらに利用者様に対する、優しさや思いやりを日々実践できる取組みを心がけております。地域の行事や清掃作業にも参加し、地域の方々との交流を大切にし、グループホーム養母の里独自の行事を開催し、地域交流を深めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、運営母体の医療機関と24時間の医療連携体制が築かれており、利用者・家族の医療面における安心と信頼を得ている。隣接事業所とは日頃から合同のイベントや訪問等で交流しており、職員間の協力体制も整っている。
- ・自治会に加入しており、総会や清掃活動・鬼火焚き・敬老会の地域行事に参加している。校区運動会にチームを結成して参加したり、毎月の地域消防団訓練にも参加する等、積極的に地域交流に取り組んでいる。また、事業所のそうめん流しは地域住民に竹やテントの準備等を協力してもらっており、近隣から野菜の差し入れもある。小学生や婦人部の来訪、中学生の職場体験学習受け入れなど、地域との相互交流が積極的に行われている
- ・職員の質の向上の為、法人で資格取得の為の勉強会開催や研修受講を支援している。
- ・玄関の目につきやすい場所に、事業所内勉強会の認知症関連資料を掲示し、来訪者にも認知症に対する理解を深めてもらう工夫をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	外部評価を活かしてサービスの質の確保と向上に努めている。	理念を玄関・事務室に掲示し、毎朝唱和している。日々の申し送りや月1回のミーティングで、話し合い、ケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	①町内会に加入 ②夏祭り参加 ③ボランティア受入れ ④そうめん流しの開催	町内会に加入し、地域の一員として総会や地域行事に参加している。事業所でのそうめん流しは住民が参加し協力している。中学生の職場体験学習やボランティアも受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーターとして地域住民との交流、ボランティア受入れ等で認知症高齢者への理解・支援方法を行っている。地域の清掃作業等にも参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、入居者様ご家族の意見をいただき、ホームの雰囲気、入居者様の表情等を話し、地域参加やサービス向上に努めている。定期的な活動報告をしています。	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催し、事業所のヒヤリハットを含めた報告と意見交換を行っている。参加者から玄関前の手すりが片方しかなく両方設置の要望があり、手すりの計画を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険課、地域包括支援センターとの密接な連携を図り、多岐にわたり協力関係を保つように努力している。 市主催の研修会にも積極的に参加している	運営推進会議時や市に直接出向いて相談する等、担当者と連携を図っており、生活保護担当者とも同様に行っている。市の研修会に参加し情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束ゼロ推進標準マニュアル」を策定し、利用者様本位のサービスによる質の向上を目指している。 必要となった場合の行動記録や拘束しないための検討会を2ヶ月に1回行っている。	指針をもとに身体拘束廃止委員会を毎月、研修を年2回実施している。日常の行為が身体拘束に該当しないか研修等で確認しながらケアに当たっており、日中の玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には様子を観察しながら対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の具体例を(部内・部外)研修 身体においては説明のつかない傷などの有無を確認し、分析をするなど見過ごさないように気をつけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修の機会を持ち、職員自らが制度を理解し、個々の入居者様に適した活用ができるようにしている。 研修報告を全体MTで行い学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>特に重要事項の説明を入念に行い、相互間で誤解のないように十分に配慮している。 (入所相談・申し込み・入居前・入居時)</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回の家族会、運営推進会議等を通じて様々な意見を取り上げ、運営に反映させている。面会時、遠方在住の方からはお便りでの声を活かしている。年2回のアンケートも実施している。</p>	<p>利用者には、毎月の介護相談員との面談や日常のケアの中で意見等を聞いている。家族には、運営推進会議や家族会・アンケート・面会時に要望等を聞いて、反映できるようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度のミーティング時に提言、意見を聞き、運営に反映させている。朝礼などでも管理者を中心に意見交換やその他にも面談なども実施している。</p>	<p>管理者は、月1回のミーティングや年1～2回の面談を行い職員の意見を聞く機会を設けている。エアコンの設置や備品の交換、職員間の意識統一等に反映している。個別相談は管理者が日常的に受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の能力に見合った給与体系を策定し、また、職員の要望等を聞き職場環境の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>◎超勤務にならない様に所定労働時間を計算している</p> <p>◎仕事に対する意識、目標を聞き、どの様なサポートが出来るか一緒に考えている。</p> <p>◎サービス業である為、必要条件を話し働きやすい職場環境を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>幹部による他施設への訪問、職員の研修派遣、分科会等での実態面の議論等を通じ、お互いの資質向上が図れるように努めている。必要に応じ個別指導もしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人、ご家族からこれまでの生活状況等聴取し、どのようなサービスが必要か、お互いに納得できるまで協議している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が納得されるまで、要望、対応を協議し、利用にあたっての不安を取り除くようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ひと通りのサービスではなく、多角的なサービス提供を検討し、利用者に最適な利用をしていただくように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員も介護される立場に立ち、更に家族的な雰囲気の中で過し合える努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連携を密にし、要望を受け入れ、また提言も行い、ご家族と共に入居様ご本人を支えていけるよう努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活歴や習慣を大切にし地域行事に参加したり、他施設に入居中の友人に会いに行ったりしている。墓参りなどの支援も行っている。手紙や電話の取次ぎなどとして、継続的環境が途切れないよう働きかけている。	これまでの生活や関係を大切にして、家族と墓参りや外食・外泊に出かけたり、自宅付近へのドライブ、手紙や電話の取次ぎを行っている。他施設の知人を訪問するなど、関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様個々の性格を観察し、全員が参加できるようなレクリエーション等を策定するなど、利用者間での交流が図れるように努力している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されてからも、随時近況を伺う等し、連絡をとり状況を確認できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人にとって、快適な環境で過ごしていただけるようご家族とも相談するように努めている。	日常のケアの中で本人の思いを把握するように努めており、意思疎通ができる利用者が多い。困難な場合は言葉かけに対しての反応や表情などから察知している。介護相談員や家族からの情報も参考にしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からのお話を聞くなどし、場合によっては住居を訪問し、今後のサービス提供に生かすよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自宅でのリズムや習慣を大切にしつつ、集団生活の場で発揮できる能力を分析、把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の意見、要望、職員同士のミーティングを通じ、それぞれの入居者様の現状に即した的確な介護計画を策定している。必要に応じCM、職員がモニタリングし、次へ向けたケアへ取り組んでいる。	家族の面会時に担当者会議を実施し、それらを基にカンファレンスで職員の意見を聞き、介護計画を作成している。職員の意見を参考にモニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時等に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケア記録、職員間の引き継ぎを的確に行い、利用者の情報の共有化を図り、創意工夫しながら介護を行うように努めている。職員向けの申し送りと個別ケアの申し送りを作り、情報共有・統一したケアを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の状況、ご家族との話し合いにより、同一事業所内の他サービスを受けられる場合は柔軟に対応する。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ご本人の意向や必要性に応じて、民生委員、警察、消防等と協力しながら支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人及びご家族の意向を尊重し、かかりつけ医との連携を図り、的確な受診ができるように支援している。</p>	<p>本人・家族の希望を尊重し、月2回の協力医の訪問診療及びかかりつけ医の受診を支援している。24時間の医療連携体制や隣接事業所の看護師の助言で対応しており、受診結果を家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>職場内の看護職員から訪問診療担当医へ状態報告し、担当NSとの連携を図り適切な看護、介護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は定期的に様子伺いをし、Dr, NSからの情報を基に退院に向けての準備、必要に応じて退院後の相談を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ、家族と連絡を取り、可能な範囲の支援を説明している。早い段階から延命についての話。重度化した場合の施設での対応を行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について、指針で説明し同意書をもらっており、段階に応じて特別養護老人ホーム等の選択肢についても説明している。重度化の場合、管理者及びケアマネージャーが同席して主治医から家族へ状況説明を行い、意向を確認しながら支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティングや必要に応じ対応方法、見極め方等の勉強会を行っている。初期対応については、職場内看護職員のオンコール態勢で対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所の各部署ごとに火災・防火訓練を実施し、年1～2回は地域のご協力をいただき、職員相互で検討を行う等、有事の際に備えている。</p>	<p>年2回の避難訓練を1回は消防署の立ち会いで実施し1回は自主訓練をしている。隣接施設との合同実施で、住民の参加がある。米やインスタント食品・レトルト食品等の備蓄及び防災用品のヘルメットや懐中電灯・非常通報装置・ガスコンロなどを揃えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>声かけひとつから入居者様の人格に配慮し、いわゆる「尊厳」に重きを置き、入居者様を一個人として尊重するように心掛けている。</p>	<p>年1回の研修を実施している。個々の人格を尊重し、さん付けでの呼びかけや入室時の声かけ・威圧的にならないこと等に気を付けている。排泄介助時は戸を閉める等、羞恥心へも配慮をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>入居者様が自己決定できるように、思いが伝えられるように問いかけをしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人の生活歴を把握しそれに近づけるような支援を行っている。自由に行動を簡単にさえぎらないようにしている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>意思決定できる方には好みの服を選んでいただき、整髪のできる方にはドライヤーブラシの準備等の支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何が食べたいか入居者様に話しかけ、メニューに取り入れたり、台所での作業、下膳等、できる方には職員と一緒に行っていただいている。 週2回の買出しを一緒に行っている。	利用者の好みを考慮して職員が献立を作成している。行事食や弁当持参での花見、年2回の外食ツアーなど、食事を楽しんでもらえるよう工夫している。週2回、職員と利用者が一緒に買い物に出かけたり、下ごしらえや食器洗いをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実施状況に応じて温、冷や飲み物の種類を替えるなどの工夫をし提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	舌の状態によっては舌ブラシで保清に努め、義歯の方は1日1回洗浄液を使用している。 口腔状態によっては、職員が口腔消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時にトイレ誘導をしトイレでの排泄支援を行っている。	個々の排泄パターンを参考にトイレ誘導を行い、日中はトイレでの排泄を支援している。個々に応じたオムツやパット等を検討し、夜間はパット交換やポータブルトイレの利用で安眠を優先する等、工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	特別な事情がない限りなるべく薬剤は使用しない方向で支援している。 また、便秘が及ぼす影響等、内部研修を定期的に行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は基本的に週3回であるが、体調や希望に添った入浴ができるように対応している。希望があれば毎日でも対応可能となっている。入浴を拒む利用者にも言葉かけや時間調整など職員間で連携して、入浴を楽しむように工夫している。	週3回の入浴を基本に午前を実施している。希望があれば柔軟に対応している。必要に応じて同性介助や2人介助を行い、拒む場合も無理強いせず、安心して入浴を楽しんでもらえるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後など、ゆっくりできる環境作りを心掛け（音・室温・光等）夜間は特に安眠できるように支援している。消灯時間は作らず一人一人その日のタイミングや状況に合わせて声掛けで入床していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の勉強会（施設内）を行い、服薬方法（食前・食後）の意味、副作用はなぜおきるのかなどスタッフが理解する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者様個々の趣味、特技を理解し、楽しみながら個々の能力を引き出せるように支援している。個人別だけでなく集団レクリエーションを取り入れ利用者間との交流を図りながら楽しみを作る。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族、ご本人の要望は勿論のこと、昼食後等の近隣の散策、ドライブ等、計画的に外出支援をしている。</p>	<p>日常的に近隣の散歩やドライブ・買い物をしており、利用者の希望で出かけることもある。年間行事で、初詣や花見・遠足・外食に出かけている。家族と外出・外泊する利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様個々の能力に応じて、お金の所持、支払を支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人の希望により支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光、壁紙、広さ等に留意し、更に清掃を徹底して行い、利用者様の居心地の良い明るく清潔な共用空間づくりを心掛けている。	リビングは室温や採光を調節し快適な室内環境である。壁には行事の写真や日めくりカレンダーを貼ったり、非常持ち出し袋やヘルメットを掛けている。利用者が、ソファ等の好きな場所にくつろげるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	空間の一角にソファ、椅子を置くなど、気ままにくつろげる空間を工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の使い勝手のいい家具類、日用品の配置に留意し、利用者中心の居心地のいい居室空間を工夫している。	電動ベッドとタンスを居室に備え、寝具はリースである。必要に応じてテレビや衣装ケース・毛布等を持ち込み、習字や塗り絵の作品を飾る等、本人が安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様自身ができることはしてもらい、できないことは手伝いながらできるようになるように支援し、自立に向けた生活ができるように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない